

# 第7学年 学級活動指導案

令和3年7月15日（木） 第5校時

1 題材 「SNSを上手に活用するためには」  
(文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」より)

2 題材について  
(1) 生徒の実態

(略)

(2) 題材選定の理由

情報モラルアンケートの結果から生徒は、家庭で毎日のようにスマートフォンやタブレットを使用し、動画視聴やネット検索などを行っている。その反面、ネットで得た情報を信じて、級友などに話している様子がある。さらに、オンラインゲーム内のトーク機能やSNSを通じて、ネットから得た情報を発信してしまう可能性が考えられる。

また、近年、SNSでの書き込みによるトラブルが大きな社会問題となっている。今後、SNSにふれる機会は増えていく。その結果、SNSやオンラインゲーム内のトーク機能によって、子どもたち自身も加害者や被害者になる可能性がある。相手に正確に情報を送る技術がより一層求められる。この題材では、様々な立場で考えるという特徴を生かし、情報の送り手の立場を中心に、情報を発信・受信する際の注意点や公開範囲の違いによるリスクなどを考えるように指導する。

(3) 指導観

SNSでの書き込みによるトラブルでは、「他者を傷つけてやろう」という悪意によって発信されたものだけでなく、「情報をみんなに知らせてあげなきゃ」や「正しい情報を教えてあげなきゃ」といった使命感や正義感によって発信された情報が、結果的に誰かを傷つけてしまうというケースもある。どのような情報が人を傷つけてしまうのか、という受信する人の立場に立ったリスクの予測が必要である。

また、SNSを上手に活用するという観点から考えると、「どうしたらリスクを回避して活用できるか」を意識させたい。

以上のことから、自分の発信した情報のリスクと責任について考えさせていきたい。

### 3 評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	日常生活への自己適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

#### 4 本題材において目指す生徒の姿

情報を発信する際には、他人や社会への影響を考えて、リスクを想像しながら発信することができる。また、情報を受信する際には、情報の信頼性を吟味し、正確な情報かどうかを判断することができる。

#### 5 本時のねらい

情報の送り手・受け手の両方の立場から、情報を発信・受信する際の注意点や公開範囲の違いによるリスクと責任について考え、理解する。

#### 6 指導上配慮すべき事項及び手立て

- 動画を視聴する場面では、登場人物の行動の何が問題かを考えながら視聴するよう促す。
- シーンを振り返りながら、登場人物の行動の問題点を共有するように促す。

#### 7 学習過程

学 習 活 動 ・ 内 容	時 間	○指 導 上 の 留 意 点 ◇評 価
<p>1 SNS上で人を傷つけたり、人から傷つけられたりしているのを見たことがあるか確認する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 SNSで情報を発信する際の危険性と責任について考えよう。</p> </div> <p>3 動画を視聴して、課題との関連について考える。</p> <p>(1) 【シーン1】「肯定的な気持ちを発信する」の動画を視聴する。</p> <p>(2) 【シーン2】「否定的な意見や気持ちを共有したい」の動画を視聴する。</p> <p>【カード教材で考えよう】 どこに発信してよいの？ ①家族とのグループでなら発信してもよいだろう</p>	<p>5</p> <p>2</p> <p>15</p>	<p>○指 導 上 の 留 意 点 ◇評 価</p> <p>○SNSでの書き込みによるトラブルに関するニュースや事例について確認し、共有する。</p> <p>○芸能人が実際に誹謗中傷を受けていた例を紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;導入動画&gt; ちひろさんがSNSなどで様々な情報を発信しようとする話です。SNSで情報を発信するときには、どのようなことに気を付ければよいか、考えながら見てみましょう。</p> </div> <p>○考えるストップポイント① (02:27) 「どのように発信しようかな…?’ この気持ちをどこにでも発信してもよいかを考え、グループで話し合い、全体で共有する。</p> <p>◇何がいけなかったのか、どうすればいいのか考えている。</p> <p>・カード教材を用いて、グループごとに話し合わせ、意見の相違について確認する。</p>

<p>②友達とのグループでなら発信してもよいだろう</p> <p>③限られた知り合いのグループでなら発信してもよいだろう</p> <p>④不特定多数の人が見られるSNSで発信してもよいだろう</p> <p>⑤どこでも発信してはいけない</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どのように行動したらよいか」を具体的な場面で考えるように指導する。</li> </ul>
<p>4 解決方法の話し合い</p> <p>(1) 【シーン3】「否定的な意見や気持ちを発信する」の動画を視聴する。 【主人公はどのようなことを想像すればよかったのだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その情報をどのような人が見る可能性があるのか</li> <li>・それを見た人たちがどのような気持ちになるのか</li> <li>・どのようなことが起こる可能性があるのか</li> </ul> <p>(2) 【シーン4】「教えてあげようという気持ちからニュースを拡散してしまう」の動画を視聴する。 【カード教材で考えよう】</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えるストップポイント② (04:02) 「発信してはダメだったの？発信する前にどうすればよかったの？」主人公の問題点についてグループで話し合い、全体で共有する。</li> <li>・情報を発信する自由（表現の自由）とともに発信に対する責任とリスクについても考えさせる。</li> <li>○考えるストップポイント③ (05:24) 「どのように発信しようかな…？」この気持ちをどこにでも発信してもよいか考え、グループで話し合い、全体で共有する。</li> <li>・カード教材を用いて、グループごとに話し合わせ、意見の相違について確認する。</li> <li>・「どのように行動したらよいか」を具体的な場面で考えるように指導する。</li> </ul>
<p>5 解決方法の決定</p> <p>【シーン5】 「自分が批判を受ける側になる」の動画を視聴する。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えるストップポイント④ (07:27) 「発信してはダメだったの？発信する前にどうすればよかったの？」インターネット等の情報をSNSで発信する場合、どのようなことに注意すればよいか考えさせる。</li> <li>◇どうすれば危険を回避できるか考え、共有している。</li> </ul>
<p>6 本時で学んだことをふりかえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>SNSなどで情報を発信するときには、リスクと責任があり、受け手の気持ちになって情報を発信することが大事である。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以下について、確認する。</li> <li>・ちひろさんに対する最後の書き込みが、ちひろさんが Moen@ちゃんに対して行った行為と同じであること。</li> <li>・発信することにもメリットはあるが、それが誰かを傷つけることにつながる可能性もあること。</li> <li>・この情報を誰が見るか、見た人がどう思うかを想像し、リスクと責任を考えながら情報発信をすること。</li> <li>・自分が批判されたり傷つけられたりする立場になった場合は、大人に相談し、SNSをしばらく利用すること控え、身近な友達と話をするようにすること。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・このことは、SNSだけではなく、オンラインゲーム内のボイスチャットやトーク機能でも起こり得ること。</li></ul> <p>◇情報発信のリスクや責任について考える。 (観察)</p>
--	---



## SNSを上手に活用するためには

7年 番 氏名

### 課題

1. 【考えるストップポイント①】 どこに発信してもよいでしょうか？ そのように考えた理由も書きましょう。
- ( ) ①家族とのグループ                      ( ) ②友達とのグループ                      ( ) ③限られた知り合いのグループ
- ( ) ④不特定多数の人が見られる SNS      ( ) ⑤どこでも発信してはいけない

2. 【考えるストップポイント②】 主人公は、発信する前にどうすればよかったのでしょうか。また、どのようなことを想像すればよかったのでしょうか。

3. 【考えるストップポイント③】 どこに発信してもよいでしょうか？ そのように考えた理由も書きましょう。
- ( ) ①家族とのグループ                      ( ) ②友達とのグループ                      ( ) ③限られた知り合いのグループ
- ( ) ④不特定多数の人が見られる SNS      ( ) ⑤どこでも発信してはいけない

4. 【考えるストップポイント④】 発信する前にどのようにすればよかったのでしょうか。また、どのようなことに気を付ければよいでしょうか。さらに、自分が批判を受けたり、傷つけられたりする立場になった場合、どうすればよいでしょうか。

5. 今日の授業で学んだこと、考えたこと、感じたことを書きましょう。

## 第9学年 国語科学習指導案

令和3年11月16日(火) 第5校時

1 単元名 情報社会を生きる「実用的な文章を読もう」「報道文を比較して読もう」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、現代の情報社会において、身の回りにあるあらゆるテキストを読む力を身に付けさせることを想定し設定された単元である。情報社会を生き抜く上で、生徒たちには、テキストを絶対視して読むのではなく、その内容や表現を吟味・検討したり、妥当性や信憑性などを評価したり、自分の知識や経験と結びつけて建設的に批判したりして読む（クリティカル・リーディング）力が求められている。したがって本単元は、実生活で読む機会が多い実用的な文章を比較検討して読むことで、相手意識や目的意識、場面、状況に応じた適切な表現などについて考えることができるとともに、報道文を比較して読むことで、書き手による違いがあることや情報には発信者の思いや意図が反映されていることを、生徒たちに実感を持って感じさせることができる教材であると考ええる。

(2) 生徒観

生徒たちはこれまで、情報との関わりにおいて、7年生で情報の集め方について、8年生でテレビや新聞、インターネットなどのメディアとの付き合い方や著作権について学習している。また、9年生ではあらゆる文章を読む際に「批判的に読む」ということがキーワードとなっており、テキストの内容や作者の意見や考えを鵜呑みにするのではなく、自分はどう考えるのか、別の視点から考えるとどんなことが言えるのかといった学習を積み重ねているところである。

本単元においては、「情報との関わり」という点に焦点を当てながら、今まで培ってきた力がさらに実用的な場面ではどのように生きるのかといった部分とつなげながら様々な言語活動を行わせていきたい。学級のほぼ全員が自分専用のスマートフォンを持ち、様々な情報と接する機会が多い環境で生活している。そのような中で、必要な情報を選択し情報の正しさを判断する力や、情報は発信者によってある程度操作されているという知識を身に付けることは、情報モラルの視点においても、生徒たちにとって有効であると考ええる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず「実用的な文章を読もう」で、日常生活においてよく目にするパンフレットや説明書、インターネット情報の文章構成や表現について、相手意識や目的意識を念頭に置き検討させる。それにより、読み手に必要な情報が的確に記されているか、書き方によって誤解を招く表現になっていないかなどを考えさせたい。また「報道文を比較して読もう」で、インターネットでよく目にするニューストピックスを条件に合わせて各自が作成することで、同じ情報を伝える上でも発信者によって表現が異なることを実感させ、その上で新聞の記事を観点にしたがって比較検討し整理することで、書き手による違いや情報の客観性や信憑性について気付かせたいと考える。

3 単元のねらい

- (1) 相手意識・目的意識を念頭に置いた上で実用的な文章を読み、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。
- (2) 報道文について、インターネットのニューストピックスを考えたり、新聞の記事を観点にしたがって比較検討したりすることで、情報の発信者の意図や書き手による表現の違いに気づき、情報の客観性や信憑性について考えを深めることができる。

#### 4 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
○ 「情報の信頼性の確かめ方」を理解し使っている。	○ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、与えられた条件に合わせて表現している。	○ 積極的に「情報の信頼性の確かめ方」を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。 ○ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。

#### 5 学習計画（総時数3時間 本時2／3）

時	学習活動	評価
1	実用的な文章（パンフレット・説明書・インターネットの情報）を読み、内容を評価する。（「実用的な文章を読もう」）	○ 読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、評価することができる。（思考・判断・表現） ○ 「情報の信頼性の確かめ方」を理解し使うことができる。（知識・理解） ○ 「積極的に情報の信頼性の確かめ方」を使って読み、学習したことを踏まえて、実生活への生かし方を考えようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
2 （本時）	ネットニュースのトピックスのタイトルを考え、発信者の意図や表現による受け取り方の違いに気付く。（「報道文を比較して読もう」）	○ ネットニュースの特徴を知り、条件に合わせてニューストピックスのタイトルを書くことができる。（思考・判断・表現） ○ 考えたタイトルを友達と共有し、比較検討することで、情報の発信者の意図や表現による受け取り方の違いについて気付くことができる（思考・判断・表現） ○ 積極的に発信者の立場になってニューストピックスを書こうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
3	同じニュースを伝える2つの新聞記事を比較して読み、観点ごとに情報を整理することで、書き手のものの見方や考え方について考える。（「報道文を比較して読もう」）	○ 観点ごとに2つの記事の情報を整理し、着眼点を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめることができる。（思考・判断・表現） ○ 事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えることができる。（思考・判断・表現） ○ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について進んで評価し、2つの記事を比較して考えをまとめようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

#### 6 本時のねらい

- 様々な情報提示の仕方について知り、おおまかな違いについて把握することができる。
- ネットニュースのトピックスを条件に合わせて考え、友達と共有する活動を通して、情報の発信者の意図や表現による受け取り方の違いについて気付くことができる。

#### 7 本時の手立て

- 学校での最近のニュースを「Konanニューストピックス」として取り上げ、情報の内容を捉えた上で読み手を惹き付けるトピックのタイトルを考えさせる。
- 情報の発信者の立場と受信者の立場を体験させることで、発信者側には思いや意図があることや、表現によって受信者側の情報の印象や受け取り方に違いがあることを実感させる。

## 8 学習過程

段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◇評価
課題把握	<p>1 前時の内容を振り返り、本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>餽情報の発信は何をもとに行われているのだろうか。また、私たちは何をもとに情報を受け取っているのだろうか。</p> </div>	5	<p>○ 前時では実用的な文章の内容についてグループで検討したことを確認する。</p> <p>○ 本時は身の回りにある情報（ニュース）の発信と受信について考えていくことを伝える。</p> <p>○ 主なニュースの例として、テレビの報道番組、新聞、インターネットニュースを挙げる。</p>
見通し  課題追求	<p>2 本時の内容について見通しをもつ。            (1) インターネットニュースの特徴について知る。            (2) 学校でのニュースを「Konan ニューストピックス」として考えることを知る。</p> <p>3 情報の内容に合わせてトピックのタイトルを考える。            〈ニュースの内容〉  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>湖南小中学校で校則検討委員会が立ち上がった。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースの詳しい内容を確認し、情報の受信者にタイトルから内容にたどりつかせるためには、どのような表現が良いか考える。</li> <li>・ タイトルは13. 5字以内で考える。</li> </ul> </p>	5  15  5  10	<p>○ インターネットニュースの特徴を知らせ、受信者の興味を惹き付けたタイトルのみ内容まで読まれるということを理解させた上で、本時の内容に興味をもたせる。</p> <p>○ 生徒たちもよく目にする「Yahoo ニューストピックス」をまねて、発信者としての立場を味わわせることで本時の活動に意欲をもたせるようにする。</p> <p>○ ニュースは事実のみを伝え、生徒個々人の思いや考えを反映できるようにする。</p> <p>○ トップページにおけるタイトルの条件を伝え、条件に合った形でタイトルを考えさせる。</p> <p>○ 考えたタイトルはロイロノートで提出させ、提出状況を把握できるようにする。</p> <p>◇ 条件に合わせてタイトルを考えることができる。(ロイロノート)</p> <p>◇ 積極的に発信者の立場になってニュースタイトルを考えようとしている。(観察)</p> <p>○ ニュースの受信者の立場として「どのタイトルならクリックしてその先のニュースの内容を読みたいと思うか」という視点で選ばせる。</p> <p>○ 発信者・受信者、それぞれの立場の考えを聞くことにより、情報の背後にはそれぞれの思いや考え、意図があることに気付かせる。</p>
振り返り	<p>6 本時の内容を振り返り、課題に対してのまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦○ 発信される情報は、発信者の思いや考え、意図をもとに発信される。</p> <p>○ 私たちは、発信される情報の印象を基準にして情報を受け取っている。</p> <p>→ つまり情報は発信者によって操作することが可能である。</p> </div> <p>7 次時の予定を確認する。</p>	7  3	<p>○ 5を受けて、課題に対してのまとめを書かせる。</p> <p>◇ 発信される情報には発信者の思いや意図が含まれること、受信者は表現の印象によって情報を選び取っていることに気付くことができる。(ワークシート)</p> <p>○ 生徒のまとめを受けて、さらに次時に向けて「情報」についてのまとめを行う。</p> <p>○ 次時は新聞の記事を比較検討することを伝え、興味をつなげる。</p>



【情報社会に生きる「報道文を比較して読もう」】

名前 ( )

( )

課題  
情報( ) ( )は何をもとに行われているのだろうか。また、私たちは何を基準にして情報を ( ) ( )いるのだろうか。



情報の ( ) (と) ( )について考える

〈選ばれたタイトル〉

- ① 「 発 受 」
- ② 「 発 受 」
- ③ 「 発 受 」
- ④ 「 発 受 」

まとめ ○発信される情報は ( )

もとに発信される ( )

○私たちは、 ( )

を基準にして情報を受け取っている ( )



情報は ( ) ( )が可能である！

## —Konan ニューストピックス—

〈ニュース内容〉

11月10日（水）に湖南小中学校で校則検討委員会が立ち上がった。これは、9月に各学年で校則について話し合ったものをもとに、湖南小中学校に現在ある校則を見直し、生徒自身の手で今の時代や自分たちに合う形にしていこう、という趣旨によって発足されたものである。

メンバーは生徒会役員（9年生も含む）、各学年の学級委員、規律奉仕委員による。担当教師は松村先生、菊地先生。

今後6回にわたり、委員会が開催される予定。

**あなたはこのニュースにどんなタイトルを  
つけますか？**